２０２６年１１月１７日
イオンフィナンシャルサービス株式会社
株式会社イオン銀行

フィッシングに関する注意喚起を実施
～国内クレジットカード会社２２社共同取り組み～

イオンフィナンシャルサービス株式会社（代表取締役兼社長執行役員：深山友晴、以下、当社）は、日本クレジットカード協会（以下、JCCA）と国内クレジットカード会社各社と連携し、メールやSMS（ショートメッセージサービス）を悪用したフィッシング被害を未然に防ぐため、フィッシングに関する注意喚起を、２０２６年１１月１７日（火）から開始します。

【背　景】

２０２５年のクレジットカード不正利用被害額は５１０．５億円（前年比△４４．５億円）（※１）と、前年から減少したものの依然として高い水準で推移しています。そのうち、クレジットカード番号盗用による不正利用被害額は４７５．４億円と、被害全体の大半を占めています。番号盗用被害の大きな要因の一つがフィッシングであり、その手口は日々巧妙化・多様化しています。こうした状況を踏まえ、クレジットカード利用者に対する継続的な注意喚起が重要となっています。２０２５年より、国内のクレジットカード会社１０社とJCCAと共同で、クレジットカード利用者を対象にフィッシング被害防止に向けた啓発活動を実施しています。本年度は、依然として被害が高い水準にあることを踏まえ、参画するクレジットカード会社を拡大し、より多くのクレジットカード利用者に向けて、フィッシングに関する注意喚起を実施いたします。

※１：不正利用被害額は一般社団法人日本クレジット協会調べの数値です。



【取り組み概要】

国内クレジットカード会社２２社のクレジットカードをご利用のお客さまに対し、２０２６年１１月１７日（火）からフィッシングに関する注意喚起のメールを送信（※２）するとともに、各社ホームページやクレジットカード会員サイトに、フィッシングに関する特設ページやバナーを設置するなど、フィッシング被害防止に向けた啓発活動を行います。

JCCAのキャンペーン特設サイトは以下をご参照ください。

https://www.jcca-office.gr.jp/consumer/onlineimportant/phishing/

※２：本メールでクレジットカード番号やパスワード、お客さまの個人情報などの登録を求めることはありません。

イオンフィナンシャルサービス

当社ではお客さまに安心してご利用いただくため、２４時間３６５日の異常検知モニタリングをはじめ、本人認証サービス（3Dセキュア）や決済アプリへのログイン時におけるパスキー認証の導入、当社を模したフィッシングサイトに対する警告表示（セーフブラウジング）、サイトのテイクダウンツールの活用など、セキュリティ対策の強化に取り組んでいます。
今後も継続的なセキュリティ強化に努めるとともに、被害防止や犯罪撲滅に向けて警察当局や業界団体などと連携を深めてまいります。

【イオンカードのセキュリティ対策】
お客さまにより安全にイオンマークのカードをご利用いただけるよう「安全・安心な機能」や「もしもの時のサービス」を提供しております。

詳細は、暮らしのマネーサイトのセキュリティ関連ページをご参照ください。
https://www.aeon.co.jp/security/

以　上